

みえ発！ボラパックⅡ

みえ発！ボラパックとは？

みえ災害ボランティア支援センターでは、現地へ行ってボランティア活動をしたいと考える方々に対し、費用など様々な負担や不安を軽減し、多くの方が現地で活動していただくためのボランティアバスパックツアーを企画しました。東日本大震災発災後、先遣隊が現地で調整し、4月下旬にボラパック第1便が出発してから約2年半を通して計72便のバスを運行しました。

ボラパックⅠ・Ⅱのちがい

平成23年(4月～11月)の活動【※後に、「ボラパックⅠ」と表現】では、がれき撤去や物資配布などの災害ボランティア活動を中心に行いました。現地の状況の変化に合わせて、平成24年4月以降は名称を「ボラパックⅡ」に変更し、サロン活動を中心に交流を目的とした活動を行ないました。ボラパックⅡに移行してからは、多様なプログラムづくりのため、活動団体を中心にボランティア募集をかけました。また、活動団体独自のプログラムとは別に、個人ボランティアや独自プログラムを持っていない団体ボランティアを対象にみえボラプログラムを考案しました。

出発前の準備

みえ発！ボラパックにご参加いただくにあたり、ボランティアの皆さんには「事前ガイダンス」への参加を必須としました。ボラパックの概要やスケジュールはもちろん、山田町のこと、ボランティアとしての心構えなどを事前にお伝えすることによって、ボラパックや現地のことをご理解いただいてから出発していただけるよう時間を作りました。

また、ボラパックⅡへと移行してからは、活動内容に応じた「講習会」を「事前ガイダンス」の後に受講いただき、活動の準備をしていただきました。

<活動区分>

●独自プログラム **団体**

団体ボランティア独自のプログラム。現地のニーズと照らし合わせ、活動の可否、会場などを調整した後の活動となりました。多数の団体の参加により多種多様なプログラムを提供することができました。

●団体補助 **団体** **個人**

ボラパックⅡ開始当初は主に個人ボランティアの活動の一つとしていましたが、独自プログラムを持っていない団体ボランティアにも補助に入っていました。団体同士で事前に打ち合わせを行った上で活動に入ることができる場合もあり、個人ボランティアとは違う面でのサポートができました。

●みえボラプログラム **団体** **個人**

みえボラから提案するプログラム。ボラパックⅡ開始当初より主に個人ボランティア向けに考案しましたが、独自プログラムを持っていない団体ボランティアにもみえボラプログラムの活動を行っていただく形となりました。また、みえボラプログラムを基に独自で企画を膨らませて活動いただく団体もありました。

●現地ニーズを元に実施した活動 **個人**

現地から上がったニーズ、またはこれまで活動したプログラムの中から再度開催などの要望があった場合の活動。できる限り現地の皆さまからいただいたお声を活動という形で返せるように調整を重ねました。団体ボランティアが参加できない便での独自プログラムへの要望も個人ボランティアの皆さんの協力で実現することができました。

事務局ボランティア

設置当初から、三重県からできるボランティアとしてご登録いただいた事務局ボランティアの皆さん。みえボラ、事務局スタッフの最も心強いサポーターとして様々な場面で手助けいただきました。



事務局ボランティア登録者数

151 人

<主な活動内容>

- ・事前ガイダンスの設営準備・司会進行・説明
- ・講習会の補助・指導
- ・ボラパックⅡの出発・帰着時の受付・お見送りお出迎え
- ・ビブス(ユニフォーム)・タオルの洗濯
- ・活動で必要となる物資の準備・キット作り

などをお手伝いいただきました

参加者の傾向（平成 25 年）

※「みえ発！ボラパックⅡ第 23 便～第 35 便」の参加者データを元に作成しました。添乗スタッフは人数に含まれません。

ボラパックⅡ参加人数 **256** 人

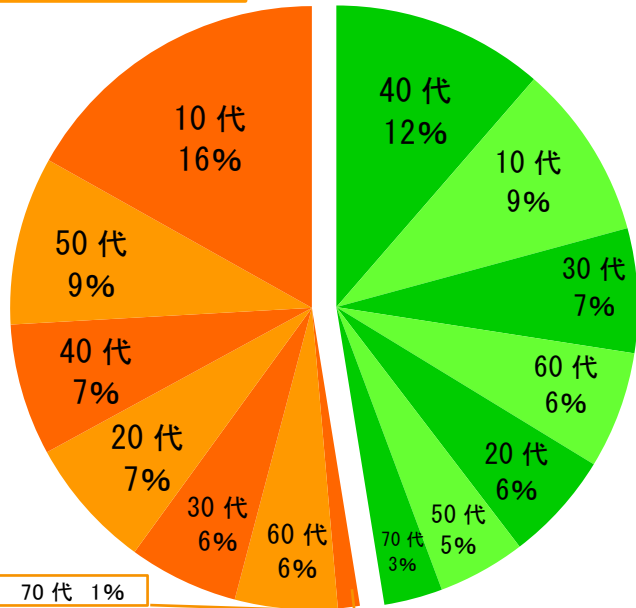
団体参加 **126** 人

個人参加 **130** 人

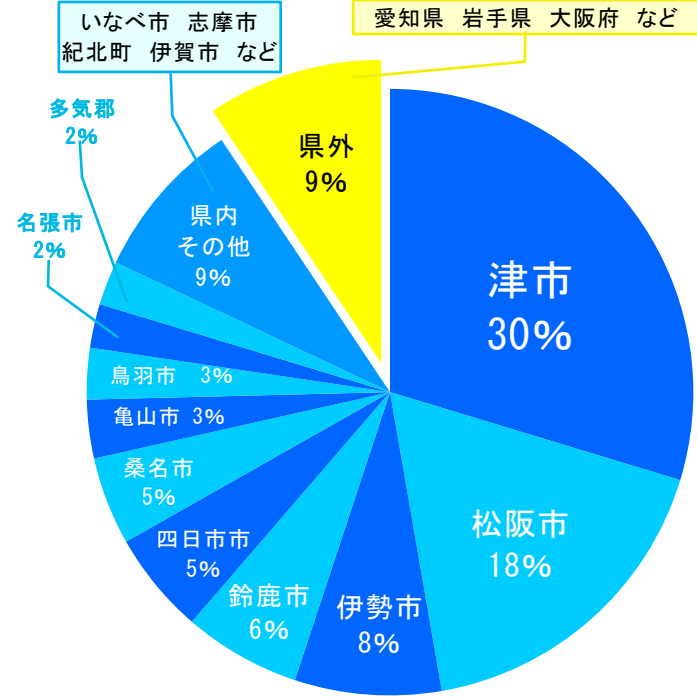
●参加者統計（性別／年代別）

女性 **135** 人

男性 **121** 人



●参加者統計（住所別）



平成 25 年内に複数回参加したボランティアのべ人数

41 人

平成 25 年内最多参加回数

4 回

最多人数の便

第 **35** 便（41 人）

最少人数の便

第 **23** 便（11 人）

最年長

76 歳

最年少

11 歳



●若者が持つエネルギー

昨年と比べて変動があったのは、年代の割合です。特に 10 代の割合が多くを占め、高校生、大学生による団体ボランティアの影響が大きく出ている結果だと言えます。

また、家族での参加により、小学生、中学生の参加も目立ちました。若者たちのはつらつとした活力と子どもたちの笑顔は、山田町の皆さんの笑顔や楽しい声を簡単に引き出してしまうパワーがあることを実感しました。

●リピーターの結束力

昨年同様、たくさんの方が複数回参加してくださいました。その要因として、ボラパックⅡの 4 日間行程やプログラムへの参加しやすさという声をいただきました。また、後半では同じ便で仲良くなったメンバー同士で声を掛け合って再度参加していただくことも多数ありました。「みえボラ」で築かれたボランティア同士のつながりが着実に残り、今後も広がっていくことを確信できました。